

和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ

謹賀新年

和歌山ろうさい病院

病院長 南條 輝志男



— 「混迷の兎」から「隆盛の辰」の年へ —

令和6年「甲辰(きのえ・たつ)」の年頭に当たり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

昨年はコロナ禍が3年を超え、新型コロナウイルスが5類に分類され、最近では徐々に沈静化しつつありますが、代わって非常に自覚症状と感染力の強いインフルエンザウイルスが猛威を振るい、当院職員の病欠が増え、その対応に苦慮しながら新年を迎えました。また、ウクライナ戦争に引き続き世界各地で武力衝突が勃発し、危機的な様相を呈する国際状況の中、国内では政治と金の問題で国会が混乱したまま新年を迎えました。

しかし、大谷翔平選手のWBCでの優勝とMVP受賞に続き、大リーグでのホームラン王やMVPなど多くのタイトルを獲得し、その結果プロスポーツ史上最高額での移籍契約を結んだことに同じ日本人として心躍り、多くの方が誇らしく勇気をいただいたのではないのでしょうか。

皆様におかれまして昨年は如何な一年でしたでしょうか？

当院では朗報として、若崎久生副院長(糖尿病・内分泌内科部長)が3月20日に令和4年度「和歌山県医学研究奨励賞」、6月24日に伊都香看護副部長が令和5年度「和歌山県看護協会長表彰」、同じく6月24日に田中規仁中央検査部主任技師が「厚生労働大臣賞」を受賞されましたことを謹んでご報告申し上げます。

また、2月4日に日本医療マネジメント学会・第17回和歌山支部学術集会を開催させていただきました。メインテーマは「公と個のマネジメント ～和歌山県の目指すべき医療を考える～」とし、皆様のご協力のお陰で盛会裏に終えることが出来ました。

そして、令和3年10月3日に発生した和歌山市六十谷水管橋崩落による断水の経験から、11月下旬より和歌山県災害拠点強靱化緊急促進事業補助金に伴う地下水汲み上げシステム(防災井戸)整備工事に着工し、本年3月中旬に完成予定です。これによって、より災害に強い病院としての設備が更に整うことになります。

13年前(平成23年)私が当院の病院長に就任した年は、東日本大震災・紀伊半島台風12号の未曾有の大水害の年であり、翌年の『わろうて』の新年のご挨拶では「一大規模災害に強い病院を目指して」の決意を表明しましたが、今後もより災害に強い病院作りに邁進することの重要性を痛感しています。

本年は辰年ですが、辰(龍)は十二支の中で唯一想像上の生き物で、中国では権力や隆盛の象徴であり、陽気が動き万物が振動し、活力旺盛となって大きく成長することで形が整う年となることが期待されます。

「混迷の兎」から「隆盛の辰」の年になり、活力溢れ、良い形に世界が整い、平和な日々が訪れることを願って已みません。

本年が皆様にとりましてご多幸の年になります様、祈念申し上げます。

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本 93 番 1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用FAX)

E-mail:soumu@wakayamah.johas.go.jp URL:https://www.wakayamah.johas.go.jp/

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

画像診断センターの紹介

画像診断センター 寺田 正樹

放射線科でX線写真やCT、MRIなどの検査を受けられた方も少なくないと思いますが、放射線科医の存在やその仕事内容をご存じでしょうか。放射線科医には大きく分けて二つの役割があります。放射線科で撮影された画像を解釈・診断（読影）を行う画像診断と、放射線を使った侵襲性の少ないがん治療を行う放射線治療です。画像診断と放射線治療は、コンピューター技術の発達を背景に、年々進歩しています。特にCTやMRIなど非侵襲的に体内の断層像が得られる画像診断は、より詳細な情報が得られるようになり、多くの疾患の病態の把握・診療方針決定に不可欠な検査となっており、この診断の精度は病院の診療レベルに大きく関わって来ています。画像診断医は患者さんとは直接会うことは少ないですが、画像を通じて医療の質と安全を支えています。

このような状況のもと、当院では令和4年4月、画像診断機能強化のため放射線科に画像診断センターが設置され2名の放射線診断専門医が着任しました。同時に治療専門医1名も常勤となり、現在、放射線科全体として放射線診断専門医3名、放射線治療専門医1名、放射線科認定医2名の計6名で診療を行っています。放射線科に設置されている装置も積極的に更新されており、昨年夏に3テスラMRIに本邦市販として初のAI（人工知能）技術を搭載したsmartspeed（Philips社製）を導入、今年3月には1.5テスラMRIをMAGNETOM Altea（Siemens社製）に更新、来年度には二台ある64列CTの一台を最新機種に更新予定となっています（なお、治療装置も昨年12月に更新され、病変部をより選択的、高精度に照射できる各種機能を搭載したTrueBeam（Varian社製）が稼働しています）。装置の充実とともに、前号「わろうて」で紹介したDWIBSをはじめとした新たな撮影法の導入や撮影方法の見直しに放射線技師と一丸となって取り組んでいます。人員はまだ十分とは言えませんが、県内トップクラスの画像診断センター・放射線科としての体制が整ってきました。これからも診断レベルの向上に努め、地域医療に一層貢献できるよう、尽力していきたく考えています。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科に変更しました

当院の耳鼻咽喉科について、令和5年11月1日付けで標榜診療科名を「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」に変更いたしました。引き続き、地域の患者様のためにより良い医療を提供してまいります。

東6病棟の紹介

東6階病棟 中山 眞砂美

東6階病棟は、内科、循環器内科、皮膚科の混合病棟です。令和5年12月現在、内科医師5名、循環器内科医師5名、皮膚科医師3名が勤務しています。看護師、看護補助者、で構成する看護スタッフは34名で、そのなかには、糖尿病療養指導士4名と糖尿病重症化予防（フットケア）研修を修了者2名、心不全療養指導士5名が含まれており、医師、病棟看護師と他の医療従事者がともに診療、患者教育とケア、療養支援に取り組んでいます。その他、糖尿病療養指導士と心不全療養指導士の資格を有する病棟専任薬剤師1名、病棟担当理学療法士3名、病棟担当退院支援看護師1名がともに勤務しています。

内科は、感染症をはじめとする内科系疾患全般、なかでも糖尿病患者に対する血糖コントロールや教育入院、周術期の血糖管理の治療などが多く行われています。循環器内科は冠動脈造影検査、冠動脈カテーテル治療、抹消動脈血管内治療、ペースメーカー治療などの血管内治療や心不全コントロールが行われています。また、皮膚科は良生・悪性腫瘍や足趾壊疽に対する外科的治療と、帯状疱疹や蜂窩織炎など炎症疾患に対する内科的治療が行われています。

看護においては、多職種によるチーム医療を中心に展開しています。糖尿病患者には、糖尿病療養指導士による糖尿病教室、管理栄養士による個別栄養指導、臨床検査技師による自己血糖測定指導、薬剤師による薬剤とインスリン注射指導、理学療法士による運動療法を行っています。仕事しながら治療に取り組む就労者には両立支援コーディネーターである医療ソーシャルワーカーによる両立支援を実施しています。心不全患者には、心不全療養指導士が中心となり心不全手帳を用いた自己管理を支援したり、急性心筋梗塞患者には、中央リハビリテーションセンターで心臓リハビリテーションを受けていただいたりしております。

また、東6階病棟は高度急性期病床として、地域連携医療機関の医師からの要請に対し救急医師、救急看護認定看護師などで構成された救急搬送チームが当院の救急車に同乗して迎えに行き、対象患者の受け入れがいつでもできる体制をとっています。

超高齢社会の現在、独居高齢患者や老老介護・認認介護を強いられている患者も多く、当病棟では、再入院を繰り返す糖尿病や心不全など慢性疾患を有する患者に対する在宅療養支援が重要です。そのため、退院支援看護師の協力のもと、薬剤師・理学療法士・外来看護師とともに退院前カンファレンスや退院前後訪問を積極的に行っています。

院内の医療チームにとどまらず、訪問看護師やケアマネジャーなど地域との連携を強化し、患者・家族が安心してQOLを維持しながら1日でも長く在宅で生活できるよう療養支援することが当病棟スタッフ一同の目標です。



放射線治療機器の更新について

放射線科では、令和5年12月に放射線治療機器の更新があり、VARIAN社の「TrueBeam(トゥルービーム)放射線治療システム」を導入しました。

「TrueBeam放射線治療システム」は、がん組織に対して適量の放射線をピンポイントで照射し、高精度・短時間に治療する装置です。

TrueBeamの導入により、小さながんにも多方向から放射線を当てる定位放射線治療(SRT)や、腫瘍の形に合わせて放射線の形や強度を変えて照射する強度変調放射線治療(IMRT)/強度変調回転照射治療(VMAT)、CT画像から腫瘍や臓器の位置を把握し、治療寝台を適切な位置に補正して照射する画像誘導放射線治療(IGRT)など、より精度の高い技術が求められる症例にも対応可能となりました。



令和5年10月・11月・12月採用医師紹介



ひぐち みさこ
樋口 美沙子 先生

麻酔科

よろしくお願いします。



にしおへだ としき
西大條 俊幹 先生

循環器内科

ろうさい病院で働くのは研修医ぶりです。まだまだ若輩ですが、よろしくお願いします。



ひらた かずき
平田 一希 先生

皮膚科

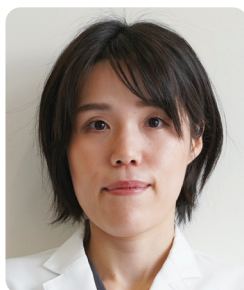
約一年半ぶりにろうさい病院に戻って参りました。患者様の皮膚科診療に貢献させて頂けるよう頑張ります。



さいとう まい
齋藤 舞 先生

麻酔科

11月から麻酔科で勤務させていただきます。患者さんに寄り添った医療を提供できるように頑張ります。



おおにし まきこ
大西 麻紀子 先生

整形外科

2回目の着任となります。またろうさい病院で勤務することができて嬉しいです。どうぞよろしくお願いします。



「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

田村耳鼻咽喉科

診療科目 耳鼻咽喉科、アレルギー科

住 所 〒640-8451 和歌山県和歌山市中573-19

Estacionふじと台駅前ビル東棟4階E406

電 話 073-499-7633



院長 ^{たむら} 田村 ^{しんじ} 真司 先生

田村先生は和歌山県立医科大学附属病院で勤務されていました。勤務医時代に得た知識を活かし地域医療に貢献したいとの思いから、2012年9月1日にふじと台にて「田村耳鼻咽喉科」を開院されました。

クリニックには親子連れが多く来院され小児の中耳炎や睡眠時無呼吸症候群、甲状腺腫瘍等の診察、新型コロナウイルス流行後は感染の副作用による嗅覚・味覚障害の患者様も来院されており、耳・鼻・喉・首の疾患全般を診察されています。診察時は体の状況をCCDカメラやファイバースコープで撮影し、画像を基に患者様に分かりやすく説明することを心掛けておられ、地域医療への貢献に日々尽力されています。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

		月	火	水	木	金	土	日
田村 耳鼻咽喉科 診療時間	午前 (9時~12時)	○	○	○	○	○	○	休
	午後 (16時~19時)	○	○	休	○	○	休	休

※休診日：水曜・土曜午後・日・祝

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 令和6年1月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	-
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	中尾 隆太郎	三長 敬昌	丸山 杏奈	
		⑦番	大伴 裕美子(午前) (腎臓内科)	南條 輝志男 【第2週休診】	-	-	中島 悠里 (腎臓内科)	
		⑩番	-	-	リウマチ・膠原病内科診 岩田 慈	-	-	
脳神経内科	A	⑪番	榎皮谷 泰寛	(午前)坂本 健	休診	榎皮谷 泰寛	榎皮谷 泰寛	-
⑭番	-	(午後)榎谷 潤子	-	榎本 健		-		
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	休診	休診	-
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	細 隆信	庄野 剛史	細 隆信	当番医	-
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	-	
消化器内科	B	⑪番	当番医	江守 智哉	深津 和弘	江守 智哉	内視鏡センター診 深津 和弘	-
		⑫番	与田 武徳	森 加奈子	石原 朋和	垣本 哲宏	榎本 武典	
		⑬番	-	当番医	当番医	-	当番医	
肝臓内科	B	⑬番	玉井 秀幸	岡村 順平	玉井 秀幸	玉井 秀幸	玉井 秀幸	-
循環器内科	A	⑧番	三浦 謙	小向 賢一	林 泰	林 泰	山本 康徳	火・木
		⑨番	西大塚 俊幹	-	山本 康徳	-	小向 賢一	
小児科	C	③番	上田 美奈	上田 美奈	田中 侑	小森 有紀	上田 美奈	-
		⑩番	西川 香瑠	小森 有紀	西川 香瑠	田中 侑	小森 有紀	
		特診⑨	小森 有紀	上田【予防接種】	田中 侑	上田 美奈	【第1週目】神経外来 津田 祐子【再診】 【第2週目以降】 宮代 英吉【再診】	
		特診⑩	田中 侑	-	西川 香瑠	小森 有紀	心臓外来 土橋 智弥	
外科	B	⑦番	山本 基	岩橋 誠	宮澤 基樹	岩橋 誠	山本 基	月・火・水・木・金
		⑧番	桐山 茂久	福田 直城	桐山 茂久	福田 直城	宮澤 基樹	
		⑨番	-	-	-	-	-	
		⑩番	-	-	-	ストーマ外来(予約制)	-	
整形外科	B	③番	中谷 如希	脊椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	籙谷 良平	スポーツ整形診 麻殖生 和博	野中 研人	
		⑤番	当番医【紹介新患診】	籙谷 良平	平 一裕	南野 和佳	平 一裕	
		⑥番	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	
		⑨番	野中 研人	-	-	-	-	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 岡田 秀雄	林 宣秀	岡田 秀雄	当番医	林 宣秀	火・木
		⑬番	辻 栄作	川口 匠	辻 栄作	-	川口 匠	
		⑭番	金高 由佳	小山 佳輝	金高 由佳	-	小山 佳輝	
		救急特備	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
呼吸器・乳腺外科	A	③番	玉置 剛司 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	月
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	鎌山 あずさ	下松 達哉	火
		②番	鎌山 あずさ	休診	平田 一希	平田 一希	【第1・3・5週】鎌山 【第2・4週】平田	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	小池 宏幸	休診	鈴木 淳史	当番医	水・金
		②番	小池 宏幸	丸山 容平	丸山 容平	丸山 容平	-	
産婦人科	D	⑩番	竹中 由夏	助産外来(予約制)	久米川 綾	助産外来(予約制)	竹中 由夏	火・木
		⑫番	矢本 希夫	当番医	矢本 希夫	当番医	当番医	
		⑬番	谷本 敏	-	竹中 由夏	谷本 敏	久米川 綾	
		午後予約	-	-	-	母親教室(予約制)	-	
眼科	D	⑤番	(午前)坂東 肇 (午後)三村 治 【第1週目のみ】 ※日時変更の可能性有	佐々木 秀一朗 (午前)	佐々木 秀一朗	佐々木 秀一朗 (予約制)	佐々木 秀一朗	月・木
		⑥番	安武 正治郎 (午後)	安武 正治郎 (午後)	-	-	-	
		午後予約	-	-	検査(予約制)	-	-	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C	⑤番	森山 智美	休診	森山 智美	森山 智美	福田 祐也	火・水・金
		⑥番	福田 祐也	休診	-	福田 祐也	【第1・3週】 頭頸部外科外来 横山 道明	
		⑦番	-	休診	-	-	-	
リハビリテーション科	D	午後 予約	福田 祐也	松本 朋子	松本 朋子	第1・4週 補聴器外来・当番医	嚙下外来 福田 祐也	-
放射線科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	-
		2診	当番医	-	当番医	-	-	
		3診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 【予約制】 A⑦番 D⑩番	-	-	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子	第3週 乳腺外来 内藤 古真	-
		-	-	第1週 漢方外来 松本 朋子	第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	-		
		-	-	-	-	-		
専門外来	健診センター【予約制】	禁煙外来(1400~1430)	庄野 剛史	-	-	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	-	-
		-	-	-	-	肥満外来(1500~1600) 中 啓吾		

(注1)

- 小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
 - 呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
 - 母親教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
 - 助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時~15時です。(予約制)
 - 耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
 - 糖尿病教室は、平日月曜日~金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
 - 女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(073-451-3303)までお申込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号(073-451-3181)を通じて各専門外来までお問合せください。
 - 整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
 - 10.前月から変更がある部分については網掛けで標示します。

(注2)

セカンドオピニオン外来の詳細については、地域医療連携室(073-451-3186)までお問合せください。

※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。
《診療予約をせずに来院されますと、担当医師が対応できない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》

【予約専用電話】 073-451-3186